

東北大学大学院情報科学研究科

(1) 学際的研究プロジェクト支援経費 実績報告書	
タイトル	学際的視点からの情報教育研究環境の構築
研究組織	曽根 秀昭(応用情報科学専攻)・磯野 邦夫(システム情報科学専攻) 篠澤 和久(人間社会情報科学専攻)・酒井 正夫(情報基礎科学専攻)
期 日	
会 場	
出席者数(講師・パネリスト等を除く)	名
講師・パネリスト等の氏名・勤務先	
(3) 目的	本研究科では、平成 15 年度以降、共通基盤科目「情報倫理学」「情報法律制度論」などの開講によって、情報教育の一環に新たな展開を画することができた。本プロジェクトでは、情報化社会の現状と今後の展望に即応した、さらなる充実、拡充を目指し、本研究科の教育および研究理念の実現を図ることを目指す。
(4) 内容	情報教育は、情報科学技術の諸分野はもとより、法制度、政治経済、倫理など諸観点からの考察を必要とする学際的な問題圏をなす。本研究科には、こうした多方面の研究成果を集約し、社会的指針を構築しうるスタッフが揃っていることを踏まえて、他大学・他研究機関にはみられない、特色ある情報教育のモデルの開発や、緊急の課題である情報セキュリティなどに関する具体的提言を行なう。
(5) 情報科学研究科にとっての意義・貢献度	情報化社会の加速度的な多様化と流動化は、情報倫理教育の基本指針の構築をきわめて困難なものとしているが、本プロジェクトによって今年度もまた、情報技術関連の諸分野はもとより、法制度、政治、メディア論などの人文社会科学系のスタッフからの協力体制のもとで、情報倫理学に固有の学際的な問題圏を射程に入れた講義カリキュラムを企画し、実行できた。これによって、将来的にも、情報倫理教育を具体化していくための指針が確立されたことは、本研究科の教育理念にとって意義あるものと評価できる。

注(1)「シンポジウム開催支援経費」「学際的研究プロジェクト支援経費」より、該当する項目を記載してください。

(2) 当学術企画実施の代表者もしくは責任者及び協力者名を全員記載してください。

(3) 当学術企画を実施した目的を簡潔に記載してください。

(4) 実施された当学術企画の内容を簡潔に記載してください。

(5) 大学院情報科学研究科に対する当学術企画の意義や貢献度を簡潔に記載してください。